

小学校低学年児童がいきいき参加できる 英語・外国語活動



国際文化学部
国際文化学科
教授
柿元 悦子

研究シーズの紹介

本研究は、2020年度から本格的に導入される小学校での外国語指導を、どのように展開すればよいか、その解決法の一つを提供しようとするものです。特に、科目、活動、としての枠組みが与えられていない低学年児童に対して、どのような活動の可能性があるか、いくつかの選択肢の中から実践できる

ようになります。

小学校におけるクラス担任と共同して、大学教員や、英語教育を志す学生、また外国人留学生、それぞれの特性を生かして、種々の活動実施することができます。



コミュニケーションの本質を生かす

- 外国人留学生、教員志望の学生、研究者、など、様々な発信者と担任がタッグを組み、児童のコミュニケーションを促進します。



多様な人材・教材で
授業をサポート



生きた音声へのアクセス、
児童の伝えたい気持ちを
大切にします！



期待される活用シーン

- 2020年度から本格的に導入される小学校での外国語を、どのように展開する？



様々な教材の研究事例にアクセスできる。



- 低学年児童には科目・活動設定がないけれど、どのように行うべきだろう？



絵本、歌、異文化の学び、等、多様な活動が体験できる。



その他の研究テーマ

海外留学・体験プログラムの在り方、その内容、意義・効果に関する研究